

国立大学法人兵庫教育大学

学 報

第414号 平成28年 3月



アカデミックカフェを開催（関連記事4ページ）



兵庫教育大学教育プログラム推進協議会（県内・広域合同部会）を開催（関連記事5ページ）



平成27年度外国人留学生歓送パーティーを実施（関連記事5ページ）

目 次

- ◇学 事2
 - ・平成28年度学校教育学部推薦入試合格者状況
 - ・平成28年度大学院連合学校教育学研究科入学者選抜試験合格者状況
 - ・寄附金
- ◇人 事3
 - ・人事異動
- ◇諸 報3
 - ・国立大学法人兵庫教育大学役員会
 - ・国立大学法人兵庫教育大学教育研究評議会
 - ・兵庫教育大学大学院学校教育研究科・学校教育学部教授会
 - ・兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科代議委員会
 - ・兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科教授会
 - ・兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科運営会議
 - ・アカデミックカフェを開催
 - ・教職キャリア開発センターシンポジウムを開催

- ・兵庫教育大学教師教育プログラム推進協議会（県内・広域合同部会）を開催
- ・平成27年度外国人留学生歓送パーティーを実施
- ・ボランティアステーションネットワーク交流会を実施
- ・附属小学校「兵庫県高等学校初任者研修（県立教育研修所事業）」への協力
- ・平成27年度兵庫教育大学大学院同窓会都道府県連携推進会議を開催
- ・国際理解プログラム（フィンランド）を実施
- ・「子どもみんなプロジェクトin兵庫」を開催
- ・子育て支援ルーム「GENKi」わくわくデーを実施
- ・特別支援教育モデル研究開発室“セミナー・リエゾンX”『みんなの学校』が問いかけることーインクルーシブ教育について語るー」を開催
- ・第37回教育実践学フォーラムを開催
- ・キャリアデザイン講座を開催
- ◇主要日誌11

— 学 事 —

○平成28年度学校教育学部推薦入試合格者状況

学校教育学部推薦入試を1月26日（火）に実施し、合格者の発表を2月10日（水）に行った。
合格者数等は次のとおりである。

区 分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
	人	人	人	人
推薦入試	58	195 (250)	195 (245)	58 (58)

備考：（ ）は昨年度の合格者数等を示す。

○平成28年度大学院連合学校教育学研究科入学者選抜試験合格者状況

連合学校教育学研究科入学者選抜試験を2月14日（日）に実施し、合格者の発表を2月17日（水）に行った。
合格者数等は次のとおりである。

専 攻	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
	人	人	人	人
学校教育実践学	10	20 (16)	17 (13)	10 (9)
先端課題実践開発	5	9 (7)	9 (7)	5 (4)
教科教育実践学	17	19 (12)	18 (12)	17 (12)
合 計	32	48 (35)	44 (32)	32 (25)

備考：（ ）は現職教員である者を内数で示す。

○寄附金

寄附申込者	研究担当者	寄附の目的	金額（円）
兵庫教育大学附属中学校 育友会 会長 小川晶弘		兵庫教育大学附属中学校の教育研究 の振興充実のため	706,400

— 人 事 —

○人事異動

1. 大学教員等

(1) 採用

平成28年3月1日付

職 名 等	氏 名	備 考
助教（幼年教育コース）	加 納 史 章	
助教（グローバル化推進教育リーダー養成カリキュラム研究開発室）	Grady Clare Elizabeth	

2. 事務職員

(1) 採用

平成28年3月1日付

職 名 等	氏 名	備 考
学生支援課学生支援チーム特定一般職員	熊 代 里 子	

(2) 退職

平成28年2月19日付

元 職	氏 名	備 考
学生支援課学生支援チーム特定一般職員	前 林 和 美	

— 諸 報 —

○国立大学法人兵庫教育大学役員会

第18回 平成28年2月9日（火）

○国立大学法人兵庫教育大学教育研究評議会

第13回 平成28年2月9日（火）

(議題)

- 1 教員の選考について
- 2 教員の選考開始について
- 3 大学院学校教育研究科カリキュラム・ポリシーの改定について
- 4 障害を理由とする差別の解消の推進に関する教職員対応要領の策定について
- 5 グローバリゼーション対応戦略2016-2021の策定について
- 6 高大連携教育協定の締結について
- 7 学長特別補佐の候補者について

○兵庫教育大学大学院学校教育研究科・学校教育学部教授会

第9回 平成28年2月9日（火）

(議題)

- 1 教員候補者についての意見の取りまとめ等について
- 2 平成28年度学校教育学部推薦入試の合否判定について
- 3 平成28年度特別聴講学生の受入れについて

○兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科代議委員会

第9回 平成28年2月15日（月）

(議題)

- 1 研究科教員資格審査に係る自然系教育連合講座の判定基準の改正について
- 2 博士候補認定試験の実施について

○兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科教授会

第3回 平成28年2月15日(月)

(議題)

- 1 平成28年度入学者選抜試験の合否判定について
- 2 平成28年度入学者選抜試験の追加合格の取扱いについて
- 3 平成28年度入学予定者の指導教員の決定について
- 4 代議委員会の審議経過について

○兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科運営会議

第6回 平成28年2月15日(月)

(議題)

- 1 第3期中期目標・中期計画について
- 2 第3期連合学校教育学研究科予算について

○アカデミックカフェを開催

1月27日(水)、2月3日(水)の2日間、総合研究棟学生ホールにおいて、後期のA' Cafe(アカデミックカフェ)を開催した。これは、文字通り気楽な雰囲気の中で、教員と学生が双方向型コミュニケーションにより学ぶ講座で、企画や講師の交渉、当日の準備はカフェ実行委員会の学生が行っている。

1月27日(水)は、教育内容・方法開発専攻行動開発系教育コース島本好平助教によるカフェ「チームがまとまる秘訣～コミュニケーションの重要性～」を開催した。5人1組でグループになり、インタビュー形式で自己紹介やグループワークをしながら、参加者同士でコミュニケーションについて学んだ。最初はどのグループもよそよそしい雰囲気であったが、キーワードとなった「自己開示」を行いコミュニケーションをとることで、カフェが終了後も談笑するほど打ち解けることができた。参加者は「チームがまとまる秘訣」を体験する機会となった。

2月3日(水)は、同専攻文化表現系教育コース吉田達弘教授によるカフェ「どうしたらいいの外国語活動～英語で遊ぼう～」を開催した。3人1組でグループになり、体を使ってアルファベットを作ったり、相手の動きに合わせて一緒に動きながら自己

紹介をしたりと、頭と体を動かして英語を使う学習活動を実践した。また簡単な英語表現でも奇抜なシチュエーションを想定して声に出してみるなど、会話や場面を作り上げることに焦点をあてることで、楽しい活動になることを体験した。

参加者は、自分の個性を發揮しながら「相手を受け入れること」、「他者とのかかわりの中で学ぶこと」の大切さを実感し、頭と体を使って英語を使う楽しさを味わう活動ができた。



○教職キャリア開発センターシンポジウムを開催

2月10日(水)、総合研究棟大会議室において、教職キャリア開発センター主催のシンポジウム「時代の要請に応える教職キャリア支援の方向性と課題」を開催した。大学関係者、教育委員会関係者、本学教職員および学生らも含め約90人が出席し、会場は満席となった。

当日は、加治佐哲也学長の開会の挨拶のあと、文部科学省初等中等教育局茂里毅教職員課長より「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」と題した基調講演が行われた。続いて、シンポジストである小野市教育委員会学校教育課藤原正伸主幹から「兵庫教育大学と連携した教職キャリア支援～ステップアップ学生サポート事業の推進～」、横浜市教育委員会教職員人事部松原雅俊教職員育成課長から「横浜市における教員の養成・育成の効果的接続を目指す取組」、教職キャリア開発センター就職支援部門長藤原忠雄教授から「兵庫教育大学教職キャリア支援『これまで これから』」についてそれぞれ成果発表が行われた。その後、指定討論者の茂里氏にも登壇いただき、教職キャリア支援に係わ

る本学の事例・各教育委員会の取組などについて活発に議論が交わされた。議論を通して、大学が各教育委員会等学外とのつながりを持ち、そのネットワークのもとで学生のキャリア支援を卒業・修了後も協力して行っていくことの重要性が確認された。

最後に福田光完副学長がシンポジウムの総括と閉会の挨拶を行い、盛会のうちに幕を閉じた。



○ 兵庫教育大学教師教育プログラム推進協議会(県内・広域合同部会) を開催

2月12日(金)、神戸ハーバーランドキャンパスにおいて、兵庫教育大学教師教育プログラム推進協議会を開催した。本協議会は、本学と学校教育関係者が教師教育のあり方について広く協議することにより、本学の新しい教師教育プログラムの改善を図るとともに、相互の理解と支援を促進するために開催している。

今年度は、文部科学省から初等中等教育局茂里毅教職員課長を招き、県内の9市教育長、小・中・高各学校長会会長、私立学校関係者、兵庫教育文化研究所関係者で構成する県内教育委員会等部会と、6府県教育委員会関係者と3政令指定都市教育委員会関係者で構成する広域教育委員会等部会との合同会議として行った。

会議では、加治佐哲也学長の開会の挨拶のあと、茂里氏から教員養成改革の動向について、平成27年12月21日に出された中教審3答申に関する内容を中心に情報提供が行われた。引き続き、本学における教員養成の高度化に関する取組みについて紹介を行ったあと、全体での意見交換を行った。教育委員会

等関係者等からは、これからの教師教育のあり方や学校現場の様々な困難な現状や、本学や国に期待する役割などについて意見が述べられた。本学が推進する教師教育プログラムの改善を行う上で、貴重な意見をステークホルダーの方々からお聴きすることができた有意義な協議会となった。



○平成27年度外国人留学生歓送パーティーを実施

2月18日(木)、大学会館食堂にて、本年3月に修了する外国人留学生の歓送パーティーを実施した。加治佐哲也学長による開会の挨拶に続き、吉田秋広加東市副市長より、修了留学生へお祝いとお励ましのお言葉をいただいた。留学期間中にお世話になった加東市の方々、フレンドシップファミリーや、学生チューターなどが参加し、加東市や大学での生活を振り返りながら、楽しいひと時を過ごした。修了する留学生からは「フレンドシップファミリーや地域の皆さんにとっても親切に接していただき、本当に感謝しています」との挨拶があった。最後に秦基博の「ひまわりの約束」を参加者全員で歌い、別れを惜しみつつ閉会した。



○ボランティアステーションネットワーク交流会を実施

2月19日（金）、総合研究棟大会議室において、今年度の学生たちのボランティア活動を振り返り、その体験から得た学びを発表・共有する場として「平成27年度ボランティアステーション・ネットワーク交流会」を実施した。交流会には学生ボランティア派遣先団体のうち、45団体（58人）と、本学学生・教職員（53人）の総勢111人が参加した。

今回の交流会は「つなぐ」をテーマに、計画段階から会場準備・進行の殆どをボランティアステーション学生スタッフが中心となって企画・運営した。

体験発表をした学生は「発表の機会が持て、今までのボランティアに対する整理をすることができた。またその発表を聴いて下さった皆さんを裏切らないようこれからも努力をしていかなければいけないと感じた」と話した。また交流会に参加した学生からは「実際に団体の方々の意見を聞き、自分の思っていることも話すことができ、新たな視点、新たな目標ができた」という感想が聞かれた。

参加した団体関係者からは「学生自ら主体的に創り上げる交流会。参加者も増え、より意義深くつながりのできる素晴らしい会になっていると感じた」や「一人ひとりの発表がよかった。実体験に基づくものすごく心打たれた」等の声が寄せられた。

ボランティアステーションは設置から3年が経とうとしているが、設置初年度に比べ、今年度は学生の派遣件数が倍増するなど体験の幅・機会とも広がっている。これからも、学生が地域や社会に自身を開き、また国を越えてのボランティアなどグローバルな広がりが期待される。



○附属小学校「兵庫県高等学校初任者研修（県立教育研修所事業）」への協力

2月19日（金）、附属小学校において、兵庫県高等学校の新任教員約170人が、小学校全教科・領域の授業を参観した。これは、県立教育研修所の初任者研修事業の一環として、高等学校の新任教員が本校の授業を参観することにより、小学校のきめ細やかな指導を学ぶ機会とし、以後の高校教員としての指導に生かせるようにという趣旨で開催されたものである。

前日には、授業参観に先立ち、本校研究主任による事前講話が行われた。翌日、その講話から学んだ小学校教育の実際を、じっくりと1時間授業を参観することで、小学校ならではの指導内容や方法を体感することができたのではないかと思われる。



○平成27年度兵庫教育大学大学院同窓会都道府県連携推進会議を開催

2月20日（土）、神戸ハーバーランドキャンパス兵教ホールにおいて、平成27年度兵庫教育大学大学院同窓会都道府県連携推進会議を開催した。この会議は、本学修了生等に対する教育実践活動の支援、教育現場における実践的な教育研究資料の収集及び発信等の施策を円滑に実施するため、毎年行われているものである。

当日は、加治佐哲也学長をはじめとする大学関係者、大学院同窓会からは会長他役員、各都道府県支部代表者、大学院院生連絡協議会からは会長など53人が出席し、本学の大学院改組予定や近年の現職教

員の派遣状況等の説明、大学院同窓会各都道府県支部の活動状況等の報告があり、大学と大学院同窓会の連携強化が図られた会議となった。また、会議後には情報交換会が開催され、大学教職員、大学院同窓会員及び大学院生の三者が和やかに交流できた。



○国際理解プログラム（フィンランド）を実施

2月20日（土）から25日（木）の6日間にわたり、大学院生13人と教職員2人の計15人で、フィンランドにて海外研修を実施した。

今回の海外研修では、本学の協定校であり、150年の歴史をもちフィンランドの教員養成機関として中核的な役割を担っているユヴァスキュラ大学を訪問した。到着後、国際交流の担当者からユヴァスキュラ大学での教員養成についての説明があり、学内の施設を見学した。ユヴァスキュラ大学の附属小学校では、教育実習の担当者から附属学校での実習事情について説明を受け、2人の児童の案内で校舎内の各教室を見学した。附属中高一貫校では、学校長から説明を受け、2人の生徒の案内で校舎内の各施設を見学した。その後の活発な質疑応答を通して、多文化理解（多様性の受容）、インクルーシブ教育、歴史に対する姿勢、評価に関する考え方と方法などについて理解を深めることができた。

また、現地では、首都ヘルシンキ市内の街並みを散策し、バルト海に面した自然に触れたほか、文化施設を見学してフィンランドの文化を体験することもできた。

今回の海外研修に参加した大学院生からは「実際に授業の様子を見たことで、フィンランドに特有の

部分と日本の学校と同じ部分とを知ることができた」や「就学期間だけでなく、社会人になったあとの人生を見通す視野で教育制度が設計されているように感じた」といった感想が聞かれた。

ユヴァスキュラ大学は、昨年9月に本学と大学間協定を結んだばかりであったが、早速に最初の短期学生派遣が実現し、今後、一層の交流が期待できる研修となった。



○「子どもみんなプロジェクトin兵庫」を開催

2月21日（日）、神戸ハーバーランドキャンパスにおいて、平成27年文部科学省委託事業「いじめ対策等生徒指導推進事業」の一環として「子どもみんなプロジェクトin兵庫」を開催した。

当日は、公立学校共済組合玉井日出夫理事長、浜松医科大学森則夫教授の講演のあと、大阪教育大学戸田有一教授、甲子園大学金綱知准教授、本事業の研究担当である連合学校教育学研究科長の松村京子教授らにより「いじめを情動の視点で考える」と題し、シンポジウムを開催した。県内外から約70人の参加があり、その多くが教育関係者であった。

質問やアンケートからは「教育と医学・脳科学と連携した子どもの問題解決に大変興味を持っている」、「情動の研究と具体化された教育実践が行われることに大いに期待している」との意見が多く聞かれ、今後の活動にとって大変有意義なシンポジウムとなった。



○子育て支援ルーム「GENKi」わくわくデーを実施

2月22日（月）、子育て支援ルーム「GENKi」において、「親子でわくわくデー」のイベントを実施した。これは、ボランティアで参加していた本学の学部2年生6人が自ら企画構成したもので、「うたうねことゆかいななかまたち」と題して、学生が手作りした「となりのトトロ」のネコバスに乗り、いろいろな歌を歌った。「こどりのうた」から始まり、最後は「さんぽ」を104人の参加者も一緒に歌い、楽しい時間を過ごした。

参加した母親から「見事！プロ以上です」、「さすが、教師を目指す学生さん達ですね」、「次回公演が楽しみです」、「大学にあるから、他のルームと内容が違うので、毎回楽しみです」と大絶賛であった。学生たちの息の合ったパフォーマンスに、参加者全員が感動した一日となった。



○特別支援教育モデル研究開発室“セミナー・リエゾンX”『みんなの学校』が問いかけることーインクルーシブ教育について語るーを開催

2月23日（火）、総合研究棟大会議室において、“セミナー・リエゾンX”『みんなの学校』が問いかけることーインクルーシブ教育について語るーを開催した。

「みんなの学校」は、大阪市住吉区の公立小学校の教職員と児童、保護者や地域の人々の取り組みを記録したドキュメンタリー映画で、同校はすべての子どもに居場所がある学校づくりを目指していた。特別支援学級がなく、障害のある子どももクラスと一緒に学ぶことで、それぞれの成長が育まれていた。

上映後は4人程度で「これからの学校に必要なものは・・・」をテーマにグループワークを行った。校長のリーダーシップのあり方や教員間の協力・信頼関係の大切さなど、各グループで活発な議論が行われた。

当日は、学部生・大学院生および現場の教員など約35人の参加があり、アンケートでは「特別の枠で見ないことがインクルーシブといえるのでは」、「特別支援教育も生徒指導も、結局は信頼関係でいかにつながっていくかということなのではないかと思った」、「全ての学生さんにこの映画を見て、考える機会を設けてほしい」等の意見を聞くことができた。



○第37回教育実践学フォーラムを開催

2月27日(土)、大阪大学中之島センターにおいて、第37回教育実践学フォーラムを開催した。

このフォーラムは、連合学校教育学研究科における情報発信や地域貢献を目的として毎年メインテーマを定めており、今年度は「高度情報化社会の子どもたち」をメインテーマとしている。

今回は、独立行政法人国立病院機構久里浜医療センターの三原聡子主任臨床心理士をゲストスピーカーとして招き、「子どもたちのネット依存の実態とその対応」をテーマに講演が行われた。講演では、子どもたちがどのようにしてネット依存に陥るのか、具体的な事例の紹介が行われたあと、病気として診断された上で治療できるようなICD-10(世界保健機構)、DSM-5(アメリカ精神医学会)への働きかけ、ネット依存から回復を図るための様々なプログラムや取り組みについて紹介があった。そのあと、ネットに使われる子どもになるのではなく、ネットを使う子どもになるよう地域や学校、家庭での取り組みの重要性について詳細な説明が行われた。講演終了後も活発な質疑応答が行われ、熱意に溢れる今年度最終の教育実践学フォーラムとなった。



○キャリアデザイン講座を開催

今年度も、教職キャリア開発センターでは、「学び続ける教師」の育成をめざし、学生が自主的・主体的に学べるよう体験学習やグループでの演習(アクティブ・ラーニング)を多く取り入れたキャリアデザイン講座(全12講座)を開催した。

すべて課外の講座で、16時30分以降という遅い開

始時間にもかかわらず延べ376人の学生が受講した。受講した学生からは「インターネットによって起こったトラブルの具体例を知り、個人情報を守る大切さが分かった」、「社会人としてのマナーについてたくさん知ることができ、面接のルールを身に付けられた」、「自分の授業概念をがらりと変える講座で、とてもよい刺激になった」などの感想が寄せられた。

<キャリアデザイン講座一覧>

(前期)

就活・教採準備講座

日時	講習名	講師名
6月23日(火) 16:30~18:00	第一印象で差が付く好感度アップ講座	はるやま商事(株)

(後期)

大学生基礎力講座

日時	講習名	講師名
2月5日(金) 16:30~19:30	CA(キャビンアテンダント)から学ぶコミュニケーションセミナー(話すスキル編)	ANAビジネスソリューション 長田 三女

就活・教採準備講座

日時	講習名	講師名
2月18日(木) 16:30~19:30	CA(キャビンアテンダント)から学ぶ教員採用試験にも役立つマナー講習	ANAビジネスソリューション 長田 三女

教員になるための準備講座

日時	講習名	講師名
11月27日(金) 16:30~18:00	子どもの心をつかむ楽しいゲームいろいろ	NPO法人生涯学習サポート兵庫 榎本 英樹
12月10日(木) 16:30~18:00	いじめと、その背景にある自尊感情	奈良女子大学 伊藤 美奈子
12月11日(金) 16:30~18:00	あの子の眼を輝かす授業展開	教育サポーター 仲島 正教
1月21日(木) 16:30~18:00	家庭と心をつなぐ保護者対応	
2月29日(月) 16:30~18:00	アクティブラーニング入門	産業能率大学 小林 昭文

特別講座

日 時	講 習 名	講 師 名
12月2日(水) 16:30~18:00	森・川・海 つながる いのち~大震災を越え て~	NPO法人森は海 の恋人 畠山 重篤
1月27日(水) 16:30~18:00	教員のためのメンタル ヘルス講座ストレスを ため込まないための 「ストレス1日決算主 義」のすすめ	横浜労災病院勤 労者メンタルヘ ルスセンター
1月28日(木) 16:30~18:00	SNSやスマホでの子ど ものトラブル・教員の トラブルを未然に防止 する講座~教員になっ てからでは遅い!!SN Sやスマホでのトラブ ルから子どもと自分を 守る~	NIT情報技術推 進ネットワーク (株) 篠原 嘉一



(教員のためのメンタルヘルス講座ストレスをため込まないための「ストレス一日決算主義」のすすめ)



(アクティブ・ラーニング入門)

ようこそ先輩(本学の修了生が講師)

日 時	講 習 名	講 師 名
11月20日(金) 16:30~18:00	体験から学びを得る” リフレクション” ~懐 かしのレゴブロックを 使って対話してみよう ~	関西福祉大学 市橋 真奈美
1月22日(金) 16:30~18:30	読み聞かせの実践指導	神戸親和女子大 学 笹倉 剛

— 2 月 主 要 日 誌 —

月 日	事 項
3日(水)	アカデミックカフェ 附属中学校学校評議員の会
4日(木)	附属幼稚園5歳児陶芸活動
8日(月)	学校教育学部入学試験委員会(第7回)
9日(火)	役員会(第18回) 教育研究評議会(第13回) 研究科・学部教授会(第9回)
10日(水)	学校教育学部推薦入試合格者発表 教職キャリア開発センターシンポジウム
11日(木)	附属小学校「うれしのフェスティバル」
14日(日)	大学院連合学校教育学研究科入学者選抜試験
15日(月)	連合学校教育学研究科代議委員会(第9回) 連合学校教育学研究科教授会(第3回) 連合学校教育学研究科運営会議(第6回) 大学院連合学校教育学研究科入学試験委員会(第3回)
17日(水)	大学院連合学校教育学研究科入学者選抜試験合格者発表 外国人特別聴講学生教員研修留学生研究発表会
18日(木)	加東市地域国際交流推進協議会 外国人留学生歓送パーティー 附属幼稚園生活発表会(～19日)
19日(金)	大学院学校教育学研究科入学試験委員会(第10回) ボランティアステーションネットワーク交流会 附属小学校「兵庫県高等学校初任者研修(県立教育研修所事業)」
20日(土)	大学院同窓会都道府県連携推進会議 国際理解プログラム(フィンランド)(～25日)
21日(日)	子どもみんなプロジェクトin兵庫シンポジウム
22日(月)	子育て支援ルーム「GENKi」わくわくデー

	大学院同窓会研究助成金研究成果発表会
23日(火)	特別支援教育モデル研究開発室“セミナー・リエゾンX”
24日(水)	企画運営会議(第8回) 大学院学校教育研究科教務委員会(第11回) 学校教育学部教務委員会(第11回)
25日(木)	学校教育学部個別学力検査等入学者選抜試験[前期日程](～26日)
27日(土)	第37回教育実践学フォーラム

編集発行 **兵庫教育大学総務部総務課**

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1

電 話 (0795) 44-2431

<http://www.hyogo-u.ac.jp/>